

第 2 回三木市学校給食審議会 次第

日 時：令和 7 年 2 月 4 日（火）

午後 7 時から

会 場：三木市立教育センター 4 階
中研修室

1 開会

2 議決事項

答申書（案）について

三木市学校給食に関する課題について

（1）米飯回数の見直しについて

（2）市内産野菜の使用促進について

（3）農薬や化学肥料等をできるだけ使わない食材の選定について

3 答申

学校給食の実施に関する重要な事項について（一部）

4 報告

学校給食の現状について

5 閉会

(案)

令和7年2月4日

三木市教育委員会 様

三木市学校給食審議会
会長 水野 千恵

学校給食の実施に関する重要な事項について（答申）

令和5年4月24日付け教育委員会諮問第1号で諮問のありました「学校給食の実施に関する重要な事項について」のうち、「三木市学校給食に関する課題について」に関して、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

三木市学校給食に関する課題について

1 米飯回数の見直しについて

現在の米飯給食の実施回数は、週当たり3.5回、パン給食の回数は、1.5回となっています。また、今年度からパンの小麦粉を県産小麦粉に変更し、地産地消の促進ができていたり、日本型食生活のよさを園児・児童・生徒に伝えられるよう、主食は米飯を基本としつつも、週に1～2回は、パンを取り入れることが献立の多様化に繋がることから、現状の回数が望ましいと考えます。

2 市内産野菜の使用促進について

学校給食において地場産物を活用することは、児童生徒が地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心と感謝の心を育むことに繋がります。

市内産野菜の使用率は、令和5年度が重量ベースで31%と徐々に増加しています。今後も、三木市産の地場産物への理解と感謝の心を養い、郷土に愛着がもてるよう、生産団体と調整し、可能な限り少しずつ、種類や量が増加するよう努力し続けることが必要です。

さらに、保護者にも給食で地場産物を使用していることを分かりやすく周知し、地産地消の意識を高めていくことが必要と考えます。

3 農薬や化学肥料等をできるだけ使わない食材の選定について

環境負荷の少ない農業の価値への理解を深めるため、第三者機関が認めた有機農産物を学校給食に活用することは、生きた教材になると考えます。

ただし、有機農産物はまだまだ生産量に限りがあり、価格も高いことからすべてを有機農産物にすることは困難であることから、まずは、有機農産物の活用について一品目ずつ取り入れ、市の関係部局全体で有機農産物の活用について検討していくことが必要と考えます。

答申に至る経緯

今回の検討にあたり、保護者が給食にどのようなイメージを持っているのか、給食に対して望んでいることを把握するため、令和5年11月にアンケート調査を実施しました。その他にも、農業振興課から三木市の農業について話を聞き、現状を把握するとともに検討の参考としました。

1 米飯回数の見直しについて

アンケート結果をみると、主食の回数について、「今のままがよい」の回答が、保護者は66%、児童生徒は53%と「ご飯やパンの回数を増やす」より多く、現状の回数で満足していることが分かりました。

主食の米は、全量、市内産を使用しており、パンの小麦粉は今年から県産に変更しています。夏場はパンが食べにくい、県産小麦粉になってからしっとりとして美味しくなったという意見や、栄養教諭から献立の幅を広げるためにも、週に1~2回は、パンを主食とすることで献立の幅が広がるという意見がありました。

2 市内産野菜の使用促進について

アンケート結果をみると、保護者は国産、兵庫県産、市内産の食材を活用することを望んでいることが分かりました。

また、市内産の野菜を使用していることを知っているのは、保護者75%、児童生徒は79%であったことから、さらに、周知が必要と考えます。

市内産野菜の使用率は、生産団体と毎年、調整会議を開催し、品目数を徐々に増加していったことにより、下表のとおり徐々に増加しています。これからも、生産団体と調整し、少しずつ、品目や量を増加させて行くことが、地産地消の推進に繋がります。

【市内産野菜の年度別使用量と使用率】

(単位：トン)

	年 度	平成 30	令和 1	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
使用 量	全 体	139.6	128.4	120.9	133.9	126.0	125.3
	うち市内産	29.1	26.6	32.2	33.2	35.2	38.2
市内産の使用率		20.9%	20.7%	26.6%	24.8%	27.9%	30.5%

3 農業や化学肥料等をできるだけ使わない食材の選定について

保護者アンケートでは、有機農産物の使用を望む意見があり、国も「みどりの食料システム戦略」、「SDGs（国連が定めた持続可能な開発目標）」の中でも有機栽培は持続可能な農業の促進として期待されています。

アンケート結果をみると、有機農産物の活用について「給食費が上がらなければ取り入れてほしい」が46%と最も多く、「給食費が上がっても取り入れてほしい」が16%となり、有機農産物の活用を望む意見が見受けられました。

また、いくつかの自治体でも有機農産物の食材を一部導入している状況や、

市内でも有機 J A S 認定を受けた農場があることを確認しました。

そこで、今年度は県の補助金を活用し、2品の有機農産物を給食に使用しました。給食で活用することにより、児童生徒や保護者が有機栽培について理解を深め、環境教育を促進し、三木市の農業の強みとなるためにも、継続することができるよう市全体で検討することが必要と考えます。

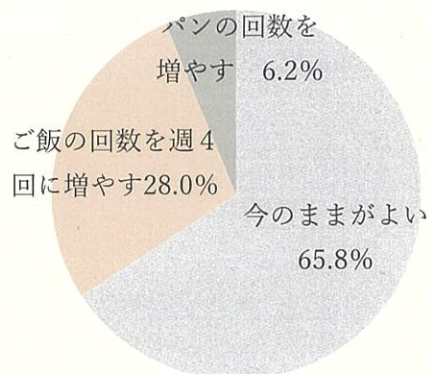
*給食アンケートの実施年度は、保護者が令和5年度、児童生徒は令和6年度となります。

【資料】

令和5年度 保護者アンケート結果抜粋

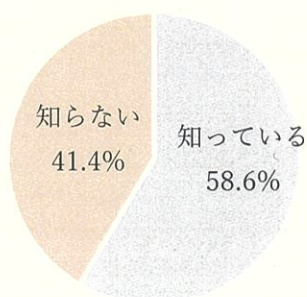
【質問7】主食の回数について、どう思われますか。(現行：週に米飯3.5回、パン1.5回)

米飯回数について「今のままがよい」という意見が66%と多く、次に「ご飯の回数を週4回に増やす」が28%となりました。このことから、米飯回数はこのままの回数でよいと考えます。



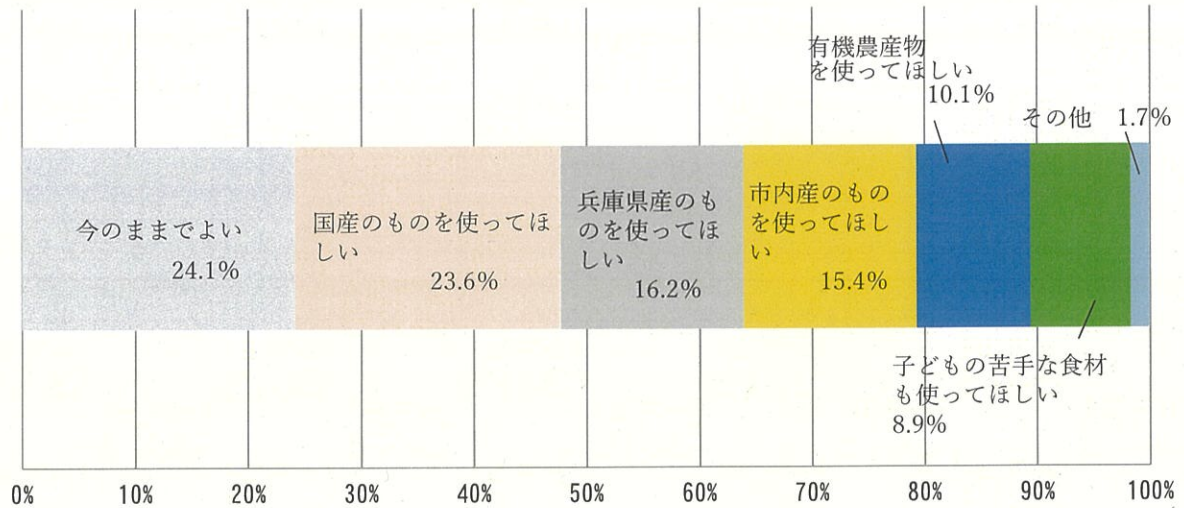
【質問8】米は全量、市内産を使用していることを知っていますか。

すべて市内産の米を使用していることを約59%の保護者が知っていることが分かりました。毎月、献立表に記載していますが、周知が不十分だと考え、今まで以上に多くの方に周知していく必要があります。



【質問 1 1】学校給食の食材について、希望はありますか。(3つまで)

「今のままでよい」が最も多く、「国産のものを使ってほしい」「兵庫県産のものを使ってほしい」「市内産のものをもっと使ってほしい」という希望が続きます。「有機農産物を使用してほしい」は、約 10%の割合でした。



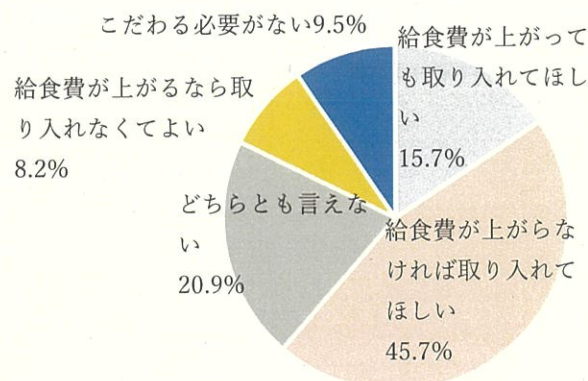
(その他意見)

「牛乳をなくしてほしい」(4件)「無農薬、無添加の食材、調味料を使ってほしい」(2件)「各地の特産品を使用し、地理に紐づけた食育をしてほしい」「店頭で販売できない食材も学びながら使ってほしい」「肉を増やしてほしい」「トリチウムやストロンチウム等の放射能検査されていないので、安全性の高い産地(海外)の食材を使用してほしい」等

【質問 1 3】今後、有機農産物*を給食に取り入れた方がよいと思いますか。

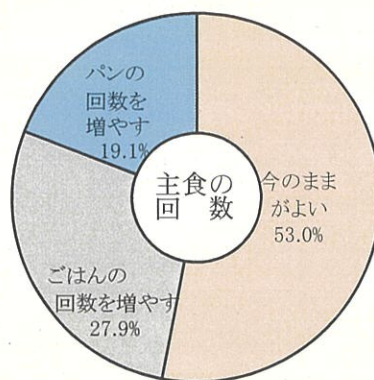
*有機農産物:化学肥料や化学合成農薬を使用せず栽培する等、有機 JAS 認証された農産物

「給食費が上がらなければ取り入れてほしい」という意見が約 46%と多く、「どちらともいえない」「給食費が上がっても取り入れてほしい」と続きます。



令和 6 年度 児童生徒アンケート結果抜粋

【質問 8】主食の回数についてどう思いますか。(現行：週当り米飯 3.5 回、パン 1.5 回)



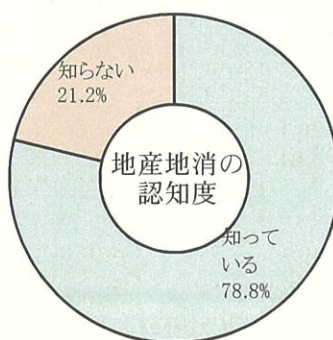
【学年別】

	小 2 年	小 4 年	小 6 年	中 1 年	中 3 年	計
今のままがよい	56.7	55.4	46.1	56.4	50.5	53.0
ごはんの回数を増やす	17.7	26.0	35.0	27.2	33.2	27.9
パンの回数を増やす	25.6	18.6	18.9	16.4	16.3	19.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答者数 (人)	282	334	297	280	295	1,488

「今のまま（米飯週 3.5 回）がよい」が最も多い。小学校 2 年生だけが「パンの回数を増やす」の割合が高いが、他の学年は「ごはんの回数を増やす」の割合が高くなる。

男女別で比較すると、男子の方が「ご飯の回数を増やす」の割合が高い。

【質問 11】給食に三木市産の米や野菜を使っていることを知っていますか。



【学年別】

	小 2 年	小 4 年	小 6 年	中 1 年	中 3 年	計
知っている	52.8	82.0	89.2	86.4	82.4	78.8
知らない	47.2	18.0	10.8	13.6	17.6	21.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答者数 (人)	282	334	297	280	295	1,488

昨年度と「知っている」割合は同じであった。小学校は、学年が上がるにつれ、認知度は上がってきている。昨年と比較すると、小学校 2 年生の「知っている」の割合が 17.7 ポイント減少し、中学校 3 年生は 10.5 ポイント増加している。

男女別で比較すると、女子の方が「知っている」の割合が多い。

令和 6 年度 学校給食の現状

I 学校給食の実施状況報告

①献立内容

7 月：市制 70 周年記念献立

かじや風ドライカレー、コンソメスープ

ぶどうゼリー（オリジナルパッケージ）、牛乳

1 月：学校給食週間「大阪・関西万博開催 みんなで関西を盛り上げよう！」

関西の郷土料理や特産品を取り入れ、給食を通して関西の特色を伝える。



②セレクト給食

1 学期：七夕献立の星型コロケか星型ハンバーグかを選択

2 学期：クリスマス献立のチョコケーキかいちごケーキかを選択

3 学期：カレーのトッピングを選択（チキンカツ・コロケ・チーズ等）

③地産地消

・精白米：100%市内産使用

・パンの小麦粉：今年度より 100%県産小麦粉使用

・野菜：昨年度と同様に 30%程度の使用割合になる見込み

④有機農産物の使用

・兵庫県の委託事業「県産有機農産物学校給食活用促進事業」を活用し、有機 JAS 認証された市内産の有機農産物を使用した。

11 月：卵とレタスのスープ レタス 137 k g

12 月：キャベツの煮浸し、キャベツのソース炒め キャベツ 560 k g

・生産者による出前授業

希望のあった別所小学校 2 年生に生産者が自然の力を生かした環境にやさしい農業について授業を実施した。

○テレビ放映「ひょうご発信！教えてひょうご」

2 給食会計収支

①食材の高騰について

- ・令和6年産米：29%上昇
- ・野菜：約25%上昇
- ・魚類：約20%上昇

【1食給食単価の推移】

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
消費者物価指数	98.2	98.7	100	100	104.5	112.9	12月 122.5
兵庫県最低賃金（円）	871	899	900	928	960	1,001	10月改定 1,052
小学校牛乳代（円）	53.43	55.48	56.67	57.83	59.26	67.39	71.24
小学校主食（円）	58.13	58.99	62.56	62.25	62.55	64.41	5年産米 68.66 6年産米 74.10
小学校実績単価（円）	233.38	234.65	239.19	242.91	255.43	266.81	計画 272 実績 276.31
中学校牛乳代（円）	53.43	55.48	56.67	57.83	59.26	67.39	71.24
中学校主食費（円）	67.31	68.19	72.54	71.44	71.71	73.98	5年産米 79.44 6年産米 86.92
中学校実績単価（円）	263.29	265.65	270.79	275.72	290.06	300.83	計画 310 実績 317.86

②歳入歳出収支

（単位：千円）

	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込
歳入（給食費・補助金当）	269,330	264,379	259,413	259,729
給食材料費	275,298	279,543	286,266	296,088
収 支	▲5,968	▲15,164	▲26,853	▲36,359

赤字補填策

	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込
基金繰入金・繰越金	5,972	0	289	0
物価高騰分補助（地方創生臨時交付金）	0	15,448	26,556	36,359
収 支	4	284	8	0
基金残高（各年度末）	7,332	7,332	7,971	7,971

当初の計画では、給食費の据え置き分のみを地方創生臨時交付金を活用して市が負担する予定であったが、さらに物価高騰分として 300 万円程度が不足する見込みである。

3 来年度の給食会計について

① 給食費徴収額

令和 7 年度 4 月から令和 6 年度に改定した金額で保護者から徴収予定

学校区分	改定前	改定後	増減
幼稚園	月額 3,600 円 (225 円/食)	月額 4,190 円 園児は主食費 600 円	月額 590 円 (37 円/食)
小学校 特別支援学校	月額 3,940 円 (234 円/食)	月額 4,575 円 (272 円/食)	月額 635 円 (38 円/食)
中学校	月額 4,100 円 (265 円/食)	月額 4,790 円 (310 円/食)	月額 690 円 (45 円/食)

② 食材費の価格見込

- ・ 精米価格がさらに 23～24% 上昇する見込み
- ・ その他の食材もまだ値上げ予定であり、野菜の価格も不安定。

学校区分	改定後	令和 7 年度見込額	増減
幼稚園	月額 4,190 円 園児は主食費 600 円	月額 4,700 円 (294 円/食)	月額 510 円 (32 円/食)
小学校 特別支援学校	月額 4,575 円 (272 円/食)	月額 5,130 円 (305 円/食)	月額 555 円 (33 円/食)
中学校	月額 4,790 円 (310 円/食)	月額 5,380 円 (348 円/食)	月額 590 円 (38 円/食)

③ 来年度の予算案

来年度から改定した給食費で徴収しても、3,000 万円程度が不足する見込みである。

令和 8 年度の給食費改定において、令和 7 年度に、適正な給食費について学校給食審議会に諮問し、答申をいただく予定である。